



**YAMADA**  
Consulting Group Co.,Ltd.

# 2014年3月期第2四半期決算説明会

2013年10月31日(木)

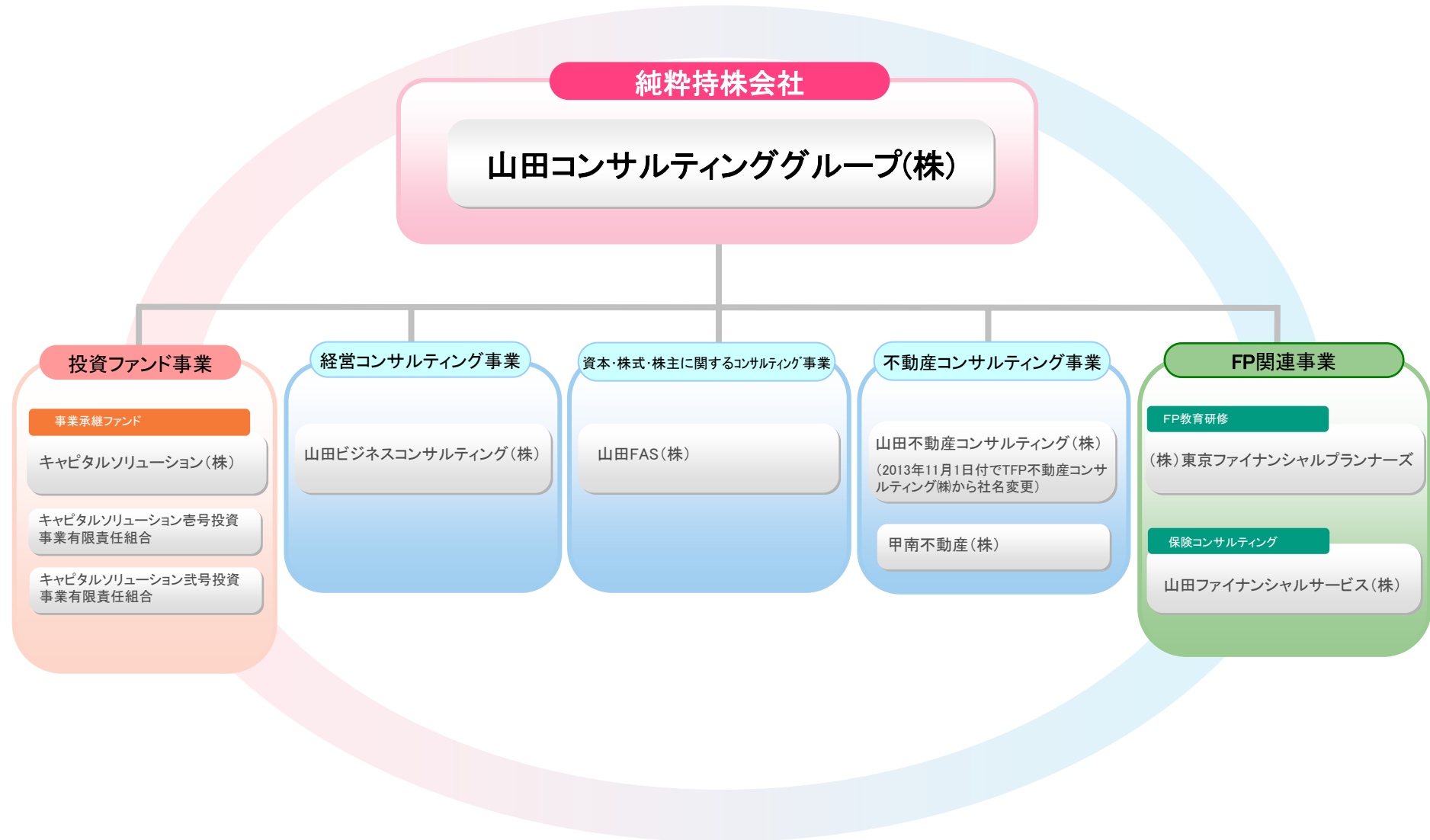
山田コンサルティンググループ株式会社

<b>1. 2014年3月期第2四半期決算概要</b>	<b>3</b>
●(1)山田コンサルティンググループ全体組織	4
●(2)第2四半期決算のポイント	5
●(3)第2四半期連結損益計算書概要	6
●(4)セグメント別損益状況	7
●(5-1)経営コンサルティング事業	8
●(5-2)不動産コンサルティング事業	9
●(5-3)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	10
●(5-4)投資ファンド事業	11
●(5-5)FP関連事業	12
●(6)第2四半期連結貸借対照表概要	13
●(7)第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書概要	14
<b>2. 2014年3月期通期業績予想</b>	<b>15</b>
●(1)2014年3月期通期連結業績予想	16
●(2-1)2014年3月期の事業戦略① 投資ファンド事業、FP関連事業	17
●(2-2)2014年3月期の事業戦略② 経営コンサルティング事業	18
●(2-3)2014年3月期の事業戦略③ 不動産コンサルティング事業	19
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	19
●(3)リスク情報	20
<b>(ご参考)山田コンサルティンググループ概要</b>	<b>21</b>
●(1)山田コンサルティンググループの歩み	22
●(2)企業経営の理念	23
●(3)特色・強み	24
●(4-1～3)各企業の特色	25
●(5)連結業績の推移	28



# 1. 2014年3月期第2四半期決算概要

# (1) 山田コンサルティンググループ全体組織



## (2) 第2四半期決算のポイント

### 総括

経営コンサルティング事業が順調で増収増益

### 経営コンサルティング事業

コンサル案件の受注状況・加工作業が順調で増収増益

### 不動産コンサルティング事業

減収減益も当初計画通りの業績を確保

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

M&A仲介業務の売上が伸び悩み減益

### 投資ファンド事業

企業再生ファンドの投資先株式の売却益250百万円を特別利益計上

### FP関連事業

確定拠出年金導入企業に対する研修受注が順調で増収増益

### (3) 第2四半期連結損益計算書概要

単位:百万円	2013年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	2014年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	前年同期比	
			金額	比率(%)
売上高	3,296 (100.0)	3,452 (100.0)	156	104.7
売上原価	509 (15.5)	398 (11.5)	△111	78.1
売上総利益	2,786 (84.5)	3,054 (88.5)	267	109.6
販管費	2,087 (63.3)	2,237 (64.8)	150	107.2
営業利益	699 (21.2)	816 (23.7)	117	116.7
経常利益	633 (19.2)	818 (23.6)	185	129.2
税引前利益	633 (19.2)	1,069 (31.0)	436	168.8
四半期純利益	345 (10.5)	740 (21.4)	394	213.9

## (4) セグメント別損益状況

### 【売上高】

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	2,207	2,589	117.3
不動産コンサルティング事業	301	219	72.8
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	311	329	105.6
投資ファンド事業	290	72	25.0
FP関連事業	260	313	120.5
消去又は全社	△75	△72	—
合計	3,296	3,452	104.7

### 【営業利益】

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	501	702	139.9
不動産コンサルティング事業	100	44	44.4
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	41	22	54.4
投資ファンド事業	44	6	15.1
FP関連事業	10	39	383.5
消去又は全社	0	0	—
合計	699	816	116.7

## (5-1) 経営コンサルティング事業

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	2,207	2,589	117.3
営業利益	501	702	139.9

- 企業再生コンサルを中心としたコンサル案件の受注状況・加工作業が順調に推移
- 持続的成長支援コンサル、事業承継コンサル、M&A支援業務も順調に拡大
- 地方拠点で地域金融機関との関係強化



## (5-2) 不動産コンサルティング事業

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	301	219	72.8
営業利益	100	44	44.4

- 前年同期比減収減益も、不動産仲介案件及び不動産有効活用等のコンサル案件の地道な積み上げにより当初計画通りの業績を確保
- 会計事務所へのアプローチ  
大手会計事務所、地域密着型の会計事務所の新規開拓に注力

## (5-3) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	311	329	105.6
営業利益	41	22	54.4

- M&A仲介案件の売上伸び悩みと案件紹介手数料等のコスト増により減益
- ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の受注は順調
- 大手金融機関との営業ネットワークの強化による営業基盤の確立に注力

## (5-4) 投資ファンド事業

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	290	72	25.0
営業利益	44	6	15.1

- 企業再生ファンドのキャピタルパートナー・二号ファンド投資先株式の売却により、株式売却益250百万円を特別利益計上。当ファンドは投資株式全ての売却が完了し、本年7月に清算
- 事業承継ファンドのキャピタルソリューション番号ファンドにおいて投資先1社の株式売却により、若干の営業利益を確保(当ファンドの2013年9月末投資残高172百万円)
- キャピタルソリューション番号ファンド(総額10億円)は投資実行なし

## (5-5) FP関連事業

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	260	313	120.5
営業利益	10	39	383.5

- 確定拠出年金(DC)導入企業に対するDC関連研修の実施回数の増加により増収増益
- 相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)は提携金融機関との強固な連携関係構築に注力

## (6) 第2四半期連結貸借対照表概要

単位:百万円		2013年3月期末	2014年3月期 第2四半期末	増減額
資産の部	流動資産	4,561	5,508	947
	固定資産	3,104	2,103	△1,001
	有形固定資産	199	192	△7
	無形固定資産	22	22	△0
	投資その他資産	2,881	1,887	△993
	繰延資産	2	2	△0
資産合計		7,668	7,613	△54
負債の部	流動負債	1,426	794	△632
	固定負債	82	65	△17
	負債合計	1,509	859	△649
純資産の部	資本金	1,599	1,599	—
	資本剰余金及び利益剰余金	4,653	5,214	560
	自己株式及び自己株式申込証拠金	△231	△203	28
	株主資本合計	6,021	6,610	588
	その他包括利益累計額	6	5	△0
	新株予約権	12	7	△4
	少数株主持分	119	130	11
	純資産合計	6,159	6,754	595
負債純資産合計		7,668	7,613	△54

## (7) 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書概要

単位:百万円	2013年 3月期 第2四半期累計	2014年 3月期 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	223	244	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68	282	351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△266	△18
現金及び現金同等物の増減額	△93	262	355
現金及び現金同等物の期首残高	3,690	3,493	△196
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,597	3,755	158



**YAMADA**  
Consulting Group Co.,Ltd.

## **2. 2014年3月期通期業績予想**

# (1) 2014年3月期 通期連結業績予想

(百万円、%)

	第2四半期累計 (実績) A	通期	
		予想数値 B	進捗率 (A/B)
売上高	3,452	7,000	49.3
営業利益	816	1,480	55.1
経常利益	818	1,480	55.3
当期純利益	740	1,430	51.7

- 10月22日に通期連結業績予想を上方修正

※修正前:売上高6,700百万円 営業利益1,350百万円 経常利益1,360百万円 当期純利益1,050百万円

- 経営コンサルティング事業は、引き続き順調な業績を確保
- 不動産コンサルティング事業は、計画通りの業績を見込む
- 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業は、大型案件の売上計上を見込み前年度を上回る業績を目指す
- F P 関連事業は、法人向け研修の拡販により計画以上の業績を目指す
- 投資ファンド事業は、事業承継ファンド投資先のイグジットを目指す
- 100%子会社間の合併により、存続会社が消滅会社から承継する税務上の繰越欠損金等に対して繰延税金資産300百万円を第3四半期に計上できる見込み
- 2014年3月期の1株当たり年間配当金7,000円予定(前年度の1株当たり年間配当金5,000円)

※第2四半期末3,500円 期末3,500円(計画) ただし2013年10月1日付の1:100株式分割考慮前換算



## (2-1) 2014年3月期の事業戦略①

### 投資ファンド事業

＜企業再生ファンドのキャピタルパートナー・二号ファンド＞

- 投資株式全ての売却が完了し、本年7月に清算

＜事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド＞

- 壹号ファンドは残存投資先株式のイグジットを目指す
- 貳号ファンド(総額10億円)は、大手金融機関の協力のもと、慎重に投資案件を発掘

### FP関連事業

- 顧客ニーズを的確に捉えたオーダーメイド型の企業向け実務研修の拡販
- 2013年3月期から、相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)をスタート  
当該業務を軌道に乗せるべく提携金融機関との強固な連携関係構築に注力

### 経営コンサルティング事業

- 大手金融機関に加え、地域金融機関、政府系金融機関、投資銀行、大手弁護士事務所、ファンドとの連携強化による確固たる営業基盤の構築
- 業務改善支援コンサル、持続的成長支援コンサル、事業承継コンサルは引き続き受注拡大を見込む
- M&A事業の本格事業化を目指す
- 地方拠点展開の積極化
- シンガポール支店及び中国現地法人(上海市)を拠点として中国、アジア展開を模索

## (2-3) 2014年3月期の事業戦略③

### 不動産コンサルティング事業

- 不動産市況への対応  
市況の変化にあわせ、物納コンサル、不動産有効活用コンサル等幅広いコンサルビジネスを展開
- 住宅の販売仲介業務、賃貸管理業務により、安定した利益確保を目指す
- 提携会計事務所との連携強化に注力⇒収益機会の獲得へ

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 大手金融機関との営業ネットワークの強化による営業基盤の確立に引き続き注力
- M&A関連業務を強力に拡大推進
- 事業再編に伴うワンストップ型のFA業務、財務デューデリジェンス業務、バリュエーション業務を引き続き推進
- 優良企業オーナーの資産管理・事業承継アドバイザリー業務もワンストップ型で推進

## (3) リスク情報

### 経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

### 不動産コンサルティング事業

- 不動産市況の動向

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

### 投資ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

### FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売への依存度が高い
- 経済動向



**YAMADA**  
Consulting Group Co.,Ltd.

(ご参考)山田コンサルティンググループ概要

# (1) 山田コンサルティンググループの歩み

事業沿革		
1989年 7月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)設立	FP教育研修事業開始
1999年 7月	山田不動産コンサルティング(株)本格稼働	不動産コンサルティング事業開始
2000年 7月	山田ビジネスコンサルティング(株)本格稼働	経営コンサルティング事業開始
2000年 8月	キャピタルパートナー・一号ファンド組成(2008年12月清算)	ファンド総額11億円
2000年 10月	当社ナスダックジャパン(現JASDAQ)上場	
2001年 10月	TFPビジネスソリューション(株)設立(現 山田FAS(株)と合併)	上場支援コンサルティング事業開始
2002年 10月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)をTFPコンサルティンググループ(株)に商号変更し、純粋持株会社化	FP教育研修事業子会社(株)東京ファイナンシャルプランナーズ設立
2004年 12月	(株)オーナー企業総合研究所本格稼働(現 山田FAS(株)と合併)	オーナー企業、オーナー向けコンサルティング事業開始
2005年 3月	山田MTSキャピタル(株)設立 キャピタルパートナー・二号ファンド組成(2013年7月清算)	事業再生投資ファンド ファンド総額: 100億円
2007年 4月	山田FAS(株)設立	(株)TFP・Web、TFPビジネスソリューション(株)、(株)オーナー企業総合研究所の3社と経営統合・事業再編 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業
2008年 1月	キャピタルソリューション(株)設立 キャピタルソリューション壱号ファンド組成	事業承継投資ファンド ファンド総額: 21.6億円
2010年 12月	当社を「山田コンサルティンググループ(株)」に商号変更	
2012年 3月	キャピタルソリューション貳号ファンド組成	事業承継投資ファンド ファンド総額: 10億円

## (2) 企業経営の理念

### 1. 健全な価値観 私たちは、信頼される人間集団として、健全な価値観を共有します。

健全な心、健全な価値観、を持ち維持し続ける組織だけが世の中に存在する意義があると信じ、我々は「健全な価値観」を最も重要な基本理念として位置付け保持し続ける。

何が健全であり何が健全でないかの基準をシンプルに示すことは難しいが、それは広く社会全体に肯定されるものでなければならず、悪や、小手先の小賢しい行動、自己の利益を追うために他を利用する行動等を心から嫌う価値観であり、個々の良心から湧き出る価値観である。我々が「健全な価値観」を失い、自己や我々の組織の利だけを計る行動をとるならば、その組織は即座に解体すべきである。

### 2. 社会貢献 私たちは、高付加価値情報を創造・提供し、顧客と社会の発展に貢献します。

顧客の成長・発展は我々にとって大きな喜びである。我々は、常に顧客の立場に立って物を考え専門サービスを提供し、顧客の発展に尽くす。

故に、グループメンバーは定式的形式的な役務提供だけでは決して満足せず、高度の専門知識と強い責任感を持って顧客に対しアドバイスし、役務提供を行い、もって顧客の発展ひいては社会発展に貢献するものである。常に発展する又は前進する意欲を持った顧客(企業)は我々にとって大切な仲間である。

### 3. 個と組織の成長 私たちは、個と組織の成長と調和をめざし高い目標を掲げる個を尊重します。

個人の成長と組織の成長は相互に強く貢献し合う。故に、社会性、大人性の備わった高い目標を掲げ、その目標実現に向けて努力する個人とその個性を尊重し、その個人の成長をともに喜ぶ。また、仕事は重要なものではあるが、個々の人生にとっては最終目標ではないのであるから、我々の組織は常に個と組織の調和を実現目標とする。

個を尊重し、個の成長を実現する為には組織もともに成長しなければならない。故に我々は組織自体の成長も重要な目的と認識する。

## (3) 特色・強み

### 強固な顧客基盤と充実したサービス内容

- 大手金融機関・地域金融機関を中心とした有力金融機関との強い結びつきによる数多くの顧客を保有
- 企業再生から成長・拡大・事業承継に至るまでの多様なサービスをワンストップで提供

### 現場主義によるサービスを実践

- 現場に深く関わることによって、精度の高いサービスを提供
- 顧客からの信頼獲得により、良好な関係を継続

### 多彩な人材によるサービス提供

- 公認会計士・税理士といった会計人のみならず、様々な分野・現場で実戦経験のある人材によるサービスを提供
- 多様なコンサルティングニーズに対応するため、金融機関経験者、メーカー勤務経験者等の中途採用に加えて、様々な専門知識をもった多数の社員が在籍



## (4-1) 各企業の特徴①

### 【コンサルティング事業】

#### 山田ビジネスコンサルティング

- 中堅・中小企業のあらゆる経営課題を解決するコンサル集団
- 大手金融機関・地域金融機関を中心とした金融機関に対する信用力
  - 中堅・中小企業に対するコンサルティング実績に基づく金融機関とのつながり
- 現場主義、独立系、中立系
  - 現場主義による実行力にこだわったコンサルティングサービスの提供
- 企業再生(B/S)コンサルから企業価値増大(P/L)コンサルへ
  - 財務コンサルティング(B/S)中心から、積極的に業務収益の改善を支援・実行する企業価値の向上を目的とする(P/L)コンサルティングへ

## (4-2) 各企業の特徴②

### 山田不動産コンサルティング

- 各分野の専門家とプロジェクトチームを結成し、最良な不動産処分・購入・投資・活用などの提案から確実な不動産取引の実現をサポート
  - 資産分析
  - 不動産有効活用
  - 相続・事業承継対策
  - 物納サポート
  - 不動産仲介
  - 賃貸管理システム
  - 住宅の販売仲介

### 山田FAS

- M&Aアドバイザー業務、資本政策実行のためのバリュエーションサービス、財務デューデリジェンス業務をワンストップで提供
- 経営・財務等の状況を踏まえた総合的観点から、オーナー経営者のニーズに応じた相続・事業承継に関するコンサルティングサービスを提供
- オーナー企業に対して、資本・財務に関するコンサルティングサービス(資本政策、M&A、バイアウト、組織再編等)を提供

## (4-3) 各企業の特徴③

### 【投資ファンド事業】

#### キャピタルソリューション

- 事業承継コンサルティングの一環としての『事業継承』ファンド
- ファンド組成実績
  - ① 2008年4月 第壹号ファンド…ファンド内容: 事業承継コンサルティングの一環としての機能6社投資(2013年9月末現在 投資先残数3社) 投資規模21.6億円 投資期間8年
  - ② 2012年3月 第貳号ファンド…ファンド内容: 事業承継コンサルティングの一環としての機能投資規模10.0億円 投資期間8年

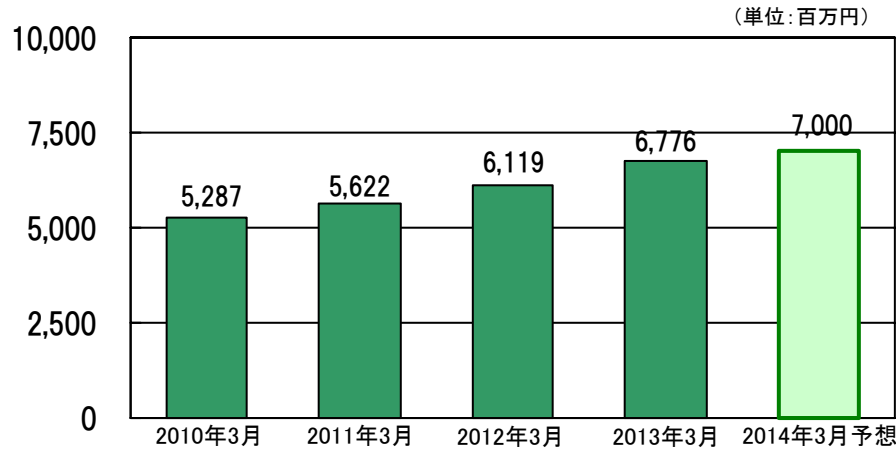
### 【FP関連事業】

#### 東京ファイナンシャルプランナーズ

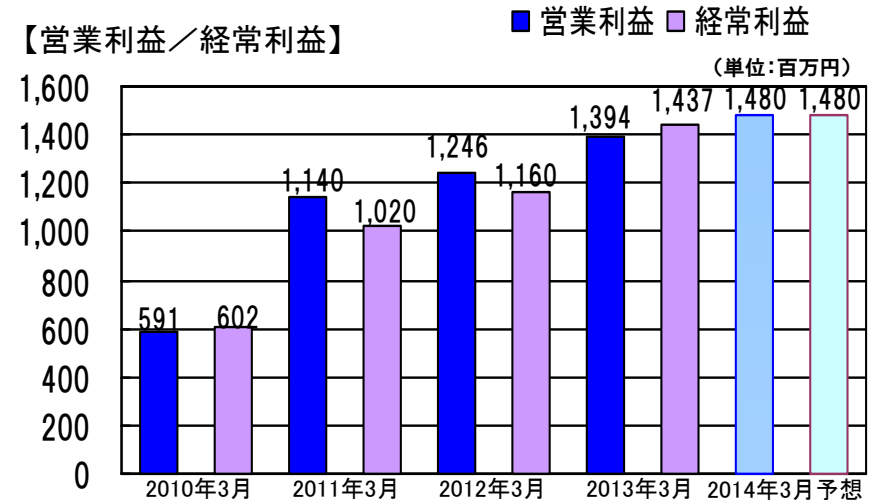
- ファイナンシャルプランナー(FP)教育研修の先駆者
  - 法人向けのファイナンシャルプランニング実務研修にも強み
    - 各企業の実務に沿ったオーダーメイド型のファイナンシャルプランニング実務研修を実施
    - グループカ、蓄積してきたノウハウ・ネットワーク
- FP教育研修
  - FP支援
  - 相続手続に関するサポート業務(相続あんしんサポート)
  - 会計人支援
  - 確定拠出年金(DC)加入者教育・継続教育

## (5) 連結業績の推移

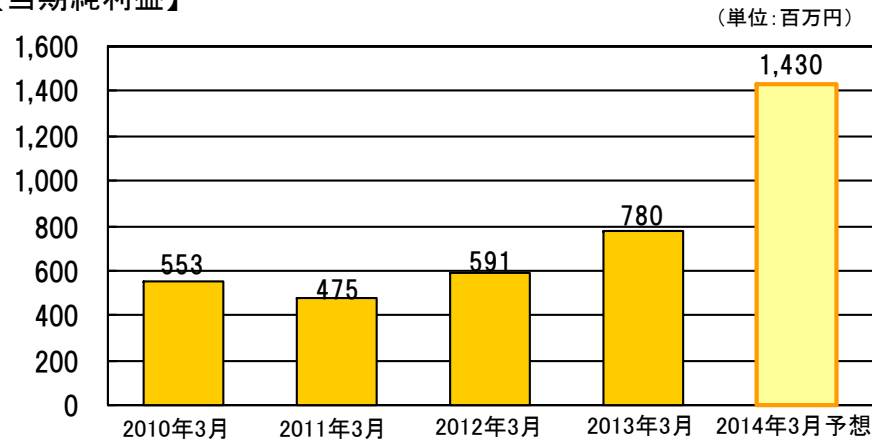
【売上高】



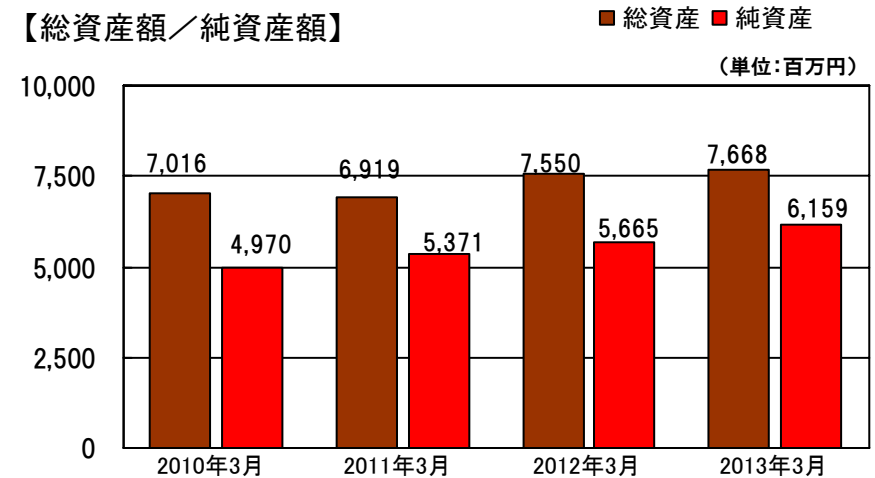
【営業利益／経常利益】



【当期純利益】



【総資産額／純資産額】





本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。